

日時 令和6年3月26日(火) 13時30分～14時10分

場所 事務局2階 大会議室

【一部の構成員等(※を付した者)はオンラインで出席】

出席者 伊藤学長

鶴原、酒井、吉岡、木下、田中※ 各理事

欠席者 西岡理事

陪席者 服部、小川 各監事

池田※、佐久間※、今西 各副理事

金子副学長

企画総務部長、学務部長、施設部長、研究・地域連携部長、国際・情報部長、

医学・病院管理部長

監査課長、財務企画課長

企画総務部総務チーム

## I. 審議事項

### 1. 「三重大学における英語表記の作成に関するガイドライン」について

金子副学長から、「資料：審－1」に基づき、本学における全学組織等の組織名の英語表記について、大学としての統一感を持たせるため、「三重大学における英語表記の作成に関するガイドライン」を作成し、令和6年4月1日に発足する全学組織等については、ガイドラインに従って英語名称を定めることについて説明があった。また、既に組織の英語名称が対外的に定着しており変更が難しい場合などは、部局の意見等を反映して表記を定めることが可能であることについても説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

### 2. 国立大学法人三重大学化学物質管理規程の制定について

金子副学長から、「資料：審－2」に基づき、本学における化学物質管理体制に不十分な点があったこと及び令和6年4月より薬品管理システム(CRIS)が本格稼働することを受け、「国立大学法人三重大学化学物質管理規程」を新たに制定することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

### 3. 三重大学高度情報専門人材育成事業に伴う工学研究科の改組について

吉岡理事から、「資料：審－3」に基づき、「令和5年度大学・高専機能強化支援事業(高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)」において「三重大学高度情報専門人材育成事業」が選定されたことを受け、令和7年度から工学研究科電子情報工学専攻を新たに設置することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

4. 三重大学研究データ管理・公開ポリシーの策定について  
吉岡理事から、「資料：審－４」に基づき、第６期科学技術・イノベーション基本計画において、研究データポリシーの策定が義務付けられていることを受け、研究データの管理、公開及び利活用について規定するため、「三重大学研究データ管理・公開ポリシー」を策定することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
5. 三重大学伊賀サテライトにおける伊賀連携フィールド事業に関する協定書の締結について  
酒井理事から、「資料：審－５」に基づき、伊賀サテライトの機能強化のため、既存の協定及び覚書を整理し、本学、伊賀市、伊賀市文化都市協会及び上野商工会議所の関係４機関で新たな協定を締結することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
6. 令和６年度学内予算配分案について  
木下理事から、「資料：審－６」に基づき、限られた大学の資源を効果的かつ効率的に成果の創出に結びつけるため、「大学成長推進経費」を確保し、研究・社会連携マネジメント機能の強化、地域共創の推進及び研究力強化に資する取り組み等を積極的に支援することに主眼を置いた予算配分を行うことについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
7. 令和６年度資金運用方針・計画及び令和５年度運用実績報告について  
財務企画課長から、「資料：審－７」に基づき、資金運用管理委員会にて了承された資金運用方針（案）にのっとり、安全性に配慮し各種リスクに十分注意しながら、収益性を求めて令和６年度の資金運用方針を実施することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。  
また、令和５年度の資金運用計画に基づき資金運用を行ったところ、運用収益が当初見込を上回った旨の報告があった。
8. 三重大学施設マネジメント会議への諮問事項について  
木下理事から、「資料：審－８」に基づき、三重大学施設マネジメント会議へ諮問する２点の事項について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
9. 認証評価の受審年度について  
企画総務部長から、「資料：審－９」に基づき、国立大学法人評価の受審年度と重ならないよう調整することで業務負荷の分散を図るため、教職大学院認証評価を令和７年度、大学機関別認証評価を令和９年度に受審し、その後大学機関別認証評価は６年サイクルで受審することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
10. 令和６年度の年度計画について  
鶴原理事から、「資料：審－１０」に基づき、令和６年度の年度計画について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。  
なお、今後は令和６年２月２７日開催の役員会にて承認された三重大学アクションプラン２０３０の内容を踏まえ、年度計画の見直しを図る予定であるとの補足説明があった。

11. 三重大学機構，統括本部及びセンター等教員連絡会について  
鶴原理事から、「資料：審－11」に基づき、適切な情報共有を行い、全学会議に課題等の提案を行う場とするため、各機構、統括本部及びセンター等の専任教員を構成員とした「三重大学機構，統括本部及びセンター等教員連絡会」を設置することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
12. 学内共同教育研究施設等の人事について  
鶴原理事から、「資料：審－12」に基づき、本学の将来構想や人件費抑制計画等を踏まえた人事計画の推進に向けて、学長及び理事で構成する学内共同教育研究施設等人事委員会を設置し、同委員会にて学内共同教育研究施設等の人事計画の策定及び大学教員の選考等を行うため、規程の制定及び改正を行うことについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
13. 労使協定について（医師の働き方改革対応）  
木下理事から、「資料：審－13」に基づき、令和6年4月1日から病院等に勤務する医師に対しても時間外労働の上限規制が適用となることを受け、本学が三重県に申請している特例水準の内容に従い、労使協定の特別条項による限度時間を定めることについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
14. 全学会議の見直しによる新会議体制（案）について  
木下理事から、「資料：審－14」に基づき、大学研究力の強化につながる教員の研究時間確保と会議に要する人件費等の経費削減を目的とした全学会議の見直しについて、見直し結果の概要説明があった。続いて、鶴原理事、酒井理事、吉岡理事及び木下理事から、教育・学生支援、社会連携、研究・情報及び事務局のそれぞれの領域における新会議体制（案）について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
15. 三重大学動物実験取扱規程及び三重大学動物実験取扱細則の一部改正について  
吉岡理事から、「資料：審－15」に基づき、動物実験で扱う種の多様化等を受け、動物を扱う研究計画の円滑な推進を目的として、「三重大学動物実験取扱規程」及び「三重大学動物実験取扱細則」を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
16. 三重大学における日本学術振興会外国人特別研究員に関する規程の改正について  
吉岡理事から、「資料：審－16」に基づき、令和5年10月より日本学術振興会の若手研究者雇用支援事業が開始され、日本学術振興会特別研究員のうちPDは常勤教員として雇用することになったことを受け、「三重大学における日本学術振興会外国人特別研究員に関する規程」を改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

17. 三重大学構内における無人航空機の飛行に関する規程の制定について  
吉岡理事から、「資料：審-17」に基づき、これまで本学の構内における無人航空機の飛行については全学的な取り決めが存在していなかったことを受け、「三重大学構内における無人航空機の飛行に関する規程」を新たに制定することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
18. 三重大学における化学物質等の取扱いに関するリスクアセスメント実施要項の一部改正について  
木下理事から、「資料：審-18」に基づき、労働安全衛生法施行令等の改正及び「国立大学法人三重大学化学物質管理規程」の新規制定を受け、本学におけるリスクアセスメント実施要項を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
19. 財務に関する規程等の改正について  
木下理事から、「資料：審-19」に基づき、国内・海外ともに宿泊施設の価格が高騰していることを受け、教職員の負担を軽減するため「国立大学法人三重大学旅費規程」を、教育学部附属幼稚園の学級編成改定を受け、「国立大学法人三重大学預り金事務取扱要項」を、また国立大学法人法の一部改正に伴い、「国立大学法人三重大学資金運用管理規程」をそれぞれ改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
20. 国立大学法人三重大学における障害を理由とする差別の解消の推進に関する規程及び留意事項の一部改正について  
木下理事から、「資料：審-20」に基づき、令和6年4月1日より障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の改正法が施行されることを受け、「国立大学法人三重大学における障害を理由とする差別の解消の推進に関する規程」及び留意事項を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
21. 人事労務に関する規程等の改正について  
木下理事から、「資料：審-21」に基づき、法令等の改正や関係各省からの指導等を受け、附属学校園教員の給与改定、医師の働き方改革における健康確保措置の導入や看護助手に係る特別調整手当の支給等に関する規程等の改正を行うことについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
22. 国立大学法人三重大学事務組織規程の一部改正について  
木下理事から、「資料：審-22」に基づき、全学センター等組織の見直しに伴い、「国立大学法人三重大学事務組織規程」を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
23. 国立大学法人三重大学文書決裁規程の改正について  
木下理事から、「資料：審-23」に基づき、全学センター等組織の見直しを受け、また意思決定業務の効率化及び迅速化のため、「国立大学法人三重大学文書決裁規程」を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

24. 全学センター等組織及び全学会議の見直し等に係る諸規程の新規制定、一部改正及び廃止について  
木下理事から、「資料：審－24」に基づき、全学センター等組織の見直し、全学会議の見直し及び執行部体制の変更等に伴い、関係規程等の新規制定、一部改正あるいは廃止を行うことについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
25. 全学共有枠の終了報告及び使用申請について  
木下理事から、「資料：審－25」に基づき、大学全体の教育研究機能の強化等を目的とした雇用枠である「全学共有枠」について、2件（人文学部1件、生物資源学研究科1件）の終了報告があった。続いて、1件（人文学部）の使用申請について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
26. 大学教員の採用等協議について  
企画総務部長から、「資料：審－26」に基づき、5件（工学研究科2件、生物資源学研究科3件）の大学教員の採用等協議について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
27. 大学教員の採用等について  
企画総務部長から、「資料：審－27」に基づき、採用協議承認済の5件（教育学部1件、生物資源学研究科1件、みえの未来図共創機構1件、研究基盤推進機構1件、高等教育デザイン・推進機構1件）の大学教員の採用等について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
28. 令和6年度役員・副学長・学長補佐等体制（案）等について  
学長から、「資料：審－28」に基づき、令和6年度の役員・副学長・学長補佐等体制（案）について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
29. 医学部附属病院の財務状況の評価について  
学長から、「資料：審－29」に基づき、「病院の財務状況に応じた全学的な対応に関する申合せ」にのっとり、医学部附属病院の財務状況に関する段階（フェーズ）評価を行うことについて説明があった。続いて、池田病院長から、令和5年度の収支状況及び令和6年度の収支見込等について説明があり、審議の結果、医学部附属病院の財務状況は段階（フェーズ）3に該当すると評価し、引き続き大学本部において状況を注視することとなった。
30. その他  
なし

## Ⅱ. 報告事項

### 1. 津地方気象台と三重県・三重大学みえ防災・減災センターとの連携・協力に関する協定の締結について

酒井理事から、「資料：報－1」に基づき、本学と三重県が共同で設立した「三重県・三重大学みえ防災・減災センター」と津地方気象台との間で、地域防災力の向上を目的とした連携・協力協定を締結したことについて報告があった。

### 2. 内部監査報告（新型コロナウイルス感染症拡大防止における三重大学の取り組み）について

監査課長から、「資料：報－2」に基づき、本学の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等に関して実施された内部監査の結果について報告があった。

### 3. 正課中の学生の事故に関する対応について

木下理事から、「資料：報－3」に基づき、令和5年7月に発生した正課中の学生の事故に関し、本学より負担相当額を当該学生及びそのご家族に一時金としてお支払いすることについて報告があった。

### 4. 医学部附属病院の稼働実績と収支報告について

池田病院長から、「資料：報－4」に基づき、医学部附属病院における令和5年度2月の稼働状況と1月の収支実績について報告があった。

### 5. その他

なし

以上